



知夫小中学校
 Tel 08514-8-2015
 Fax " 8-2312
 〒684-0100
 知夫村 1053-1
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

緊張の中で 中学部体験入学

二月二日、小学部六年生を対象とした中学部体験入学を行いました。六年生は、学校生活についての説明をしつかりと聞き、理科の体験授業に積極的に参加していました。その後は、体力づくりと部活動体験。中学部の勉強や運動の体験をおし、学ぶことの良さや体力を高めていくことの必要性を肌で感じることができたようです。一人一人が今の自分を振り返り、立派な中学生になるための目標や心構えを新たにしたいと思えます。



「中学部教頭」

「児童の感想から」

小学部六年

今日は、初めてのことがあり、緊張しました。理科では、難しい問題があったり、きんちょうしたりして分かっていても発言できませんでした。体力づくりでは、分からないことを中学生が教えてくれたので、つかったけどうれしかったです。部活動では、中学生が打ち方を教えてくれたので、ネットより向こうに打つことができました。つかれていても応援する中学生がカッコイイと思いました。私もできるようなりたいです。



楽しく交流 小学部一日入学

二月十七日、六名の新生一年生を迎えての一日入学が行われました。新生一年生は元気な挨拶と共に昇降口に到着しました。迎える現一年生も、待ちきれない思いが表情や行動に表れており、とても優しく親切に新生一年生を迎え入れる微笑ましい姿が見られました。この一日入学は、新生一年生に楽しく学校で過ごしてもらうための行事ですが、一番大事なのは、あとひと月余りではじめての進級を迎え、新生一年生の一番近くにいる現一年生の心構えを育んでいくことです。いつもなら、二年生が様々な活動をリードしてくれるのですが、この一日入学は、二年生に頼ることなく、一年生だけで準備や練習を進めてきました。



そして迎えた当日。迎えた現一年生も迎えられた新生一年生も楽しく交流し、和気あいあいとした雰囲気の中で、外の寒さを吹き飛ばすようなあたたかな時が流れました。たくさんのプレゼントを受け取り、雪のちらつく中、いつまでも昇降口の方を振り返って手を振って帰る新生一年生の後ろ姿を見送りながら、春の訪れが楽しみになりました。

「児童の感想から」

小学部一年

きょうは一日入学がありました。はじめ、くごでおみやげやさんごっこをして、わたしは花やきんでした。花をかいにいっぱいおきやくさんがきてくれました。あそんだりもしました。つり、まといれ、けんだまなどあそびました。まといれで千一てんとっているねんちゃんさんがいました。

【学校教育目標】
 未来を切り拓く
 心豊かでたくましい
 知夫の子どもを
 育成する

【めざす子ども像】
 ・自ら学ぶ子ども
 ・共に生きる子ども
 ・たくましく
 生きる子ども
 ・ふるさとを
 愛する子ども

自己新記録を目指して 校内マラソン大会

二月十日に、今年度二回目の校内マラソン大会が行われました。小学部は朝の時間やらんらんタイム、中学部は放課後の時間を使って体力づくりに励んできました。大会当日は、体力づくりの成果を發揮しようとして一生懸命走る姿が見られました。小学部は十名、中学部は七名が自己記録を更新しました。今後も小学部、中学部ともに体力づくりに力を入れていきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様には今大会でもたくさんの温かいご声援をいただきました。ありがとうございました。



「児童・生徒の感想から」

小学部四年

今日はマラソン大会がありました。ぼくは八分を切ることに、前のタイムより速くすることを目標にして走りました。最初はスピードを出して走りました。でも、失速してスピードが落ちてしまいました。目標の八分を切ることはできなかったけど、前より三秒速く走ることができました。次は八分を切るように朝練をもっとしたいです。

中学部二年

僕は、今回のマラソン大会はいつもと走り方を変えてみました。すると、タイムを少しあげることができました。前回、僕は、無理をして前の人についていこうと、とにかく走るだけだったけれど、今回は、自分のペースで走ってみると走りやすかったです。来年、僕は駅伝大会の選手になることを目指しています。その時の練習や、本番選手になれたときも、自分のペースを持ちながら走りたいと思います。そうやってまた、速く走れるようになります。



縦割り班で協力して 校内なわとび大会

校内なわとび大会では、六年生が中心となって練習に取り組みました。昼休みの体育館には、高学年が低学年に跳び方を教えたり、お互いに励まし合ったりしながら練習する姿がありました。迎えた本番では、練習の時よりも大きく記録を伸ばす児童がたくさんいました。また、頑張っていて跳んでいる友だちに向けて「頑張れ！あと〇秒だよ！」と声を掛け続ける高学年の姿も印象的でした。そして保護者の皆様の温かい拍手も、子ども達が頑張る励みになったと思います。本当にありがとうございました。



「児童の感想から」

小学部五年

今日は、なわとび大会がありました。今日は、失敗ばかりでした。前とびは、八分とべてうれしかったけど、はやぶさやかけ足が全然とべなかつたからくやしかったです。ぼくは、六月の福井小学校との交流会よりは、練習したけれど練習した本気度が少なかったのかと思えました。だから、こうかいをしています。ふだんのれんしゅうも本気でやればよかつたなど。でも、後もどりはできないから、この失敗を来年にかした



給食週間 （二月二十四日～三十日）の 取り組み その②

1月の校報では、「全国学校給食週間」についてお伝えしました。1月24日～30日の学校給食週間にあわせて、日頃食べている給食のことをもっと知ってもらう機会になればと考え、知夫小中学校でもさまざまな取り組みを行いました。今回は、その取り組みの中から、学校給食週間期間中の給食の献立について紹介します。

<1月26日（火）> ☆「島根県の日」献立

（赤貝ごはん、ワカサギの南蛮漬け、茎わかめのきんぴら、しじみのみそ汁、手作りぶどうゼリー、牛乳） ※右写真参照

県内産の茎わかめ、しじみ、ぶどうジュースを使って、きんぴら、みそ汁、手作りゼリーを提供しました。また、出雲地方でよく食べられる赤貝を使った赤貝ごはんや、宍道湖七珍の一つに数えられるワカサギを使った南蛮漬けも提供しました。赤貝は隠岐地方ではあまり食べない食材だと思いますが、残食もなくしっかり食べてくれたようでした。

<1月27日（水）> ☆アメリカ料理

（コッペパン、シェパーズパイ、大根の黒ゴマドレッシング和え、もやしスープ、果物、牛乳）

アメリカの家庭料理である「シェパーズパイ」を取り入れた献立を提供しました。羊のひき肉を使うことが多いメニューですが、給食では牛ひき肉を使って調理しました。じゃがいもをつぶしたり、ひとつひとつカップに入れたり、調理が大変なメニューですが、ボリューム満点で子どもたちにも好評でした。

<1月29日（金）> ☆「新潟県の日」献立

（ごはん、サケの焼き漬け、えんどう、きりざい、鶏汁、果物、牛乳）

毎年、給食週間にあわせて「〇〇県の日」献立を提供していますが、今年は新潟県の郷土料理である「サケの焼き漬け」、「きりざい」、「鶏汁」を献立に取り入れました。和え物には納豆を使用しましたが、細かく刻んだひきわり納豆を使うことで、苦手な人も食べやすかったかなと思います。



さらに、今回は1月の校報に引き続き、給食に関わってくださっている方へのインタビューをお届けします。毎日の給食を作っておられる調理員の山内さんにお話を伺いました。

Q：給食作りで大変なことは何ですか？

A：冬場に冷たい水で野菜などを洗うことが大変です。

Q：給食作りで心がけていることはありますか？

A：おいしく安全に作ることを心がけています。

Q：知夫の給食でおすすめのメニューはありますか？

A：パイタンメンがおすすめです！

Q：知夫の子どもたちにメッセージをお願いします！

A：いつも給食を残さず食べてくれてありがとうございます！



山内さん

〔給食担当〕

スローガン 「開拓」 児童・生徒会役員の思い②

中学部二年生全員が役職を持ってスタートした後期児童・生徒会。先月号（二月号）では、児童・生徒会執行部三名の意気込みを聞きました。今回は、各委員会役員の思いを聞いていきます。また、取り組みも一部紹介します。

保健体育委員長

僕は楽しいイベントを考えて、小中学生の交流を深めていきたいと思っています。今は、まだ交流が少ないので、色々な企画をすることで、みんなが楽しく過ごせる学校にできると思っています。また、学校全体の体力向上や健康維持にも、力を入れていきたいです。

保健体育副委員長

私は、副会長としてしっかりと委員長を支え、委員会をまとめていきたいです。学校のリーダーとして、下級生のお手本となるように、毎日の生活態度を改め、心がけたいです。自分から進んで行動し今までなかった新しい企画を考えて実行したいです。

文化福祉委員長

私は委員長となり、自ら行動し委員会をスムーズに進めていきたいと思っています。そのため、一人一人の良さを認め平等に接していきたいです。そして、誰にでも頼られるリーダーになりたいです。また、世界中の困っている人々にも目を向け、この知夫小中から、困っている人を助けられるような活動を計画したいです。そして、この学校に人を思いやる優しい心があふれると良いと思っています。

文化福祉副委員長

私は委員長と一緒に、先輩が繋いでくれた「朝掃除」を受け継いで、しっかりと続けていきたいです。また、委員会では、みんながたくさん発言しやすいような雰囲気をつくれるように頑張りたいです。学校のリーダーとして、挨拶や言葉遣いなど、ふるまいを大切にして、よりよい学校作りをしたいと思っています。

◎児童・生徒会執行部企画◎ 『評議員会』設置

小学部六年生二名・中学部一年、三年の代表者二名と執行部の三名の六名で構成されています。小学六年生には、小学部の代表として、評議員会で決まった事を小学部全体に伝達してもらったり、小学生の意見を伝えることでもらったりします。そうすることで、小学生の考えも児童・生徒会活動に、しっかりと反映できるようにになりました。

『意見箱』設置

全校児童・生徒の意見を直接聞く機会がなかったので、意見箱を昇降口に置いていきます。これまでにたくさんの方の意見がボックスの中に入っていました。「体育館のトイレが汚い」などの大切な要望も上がってきています。一人一人の意見や要望を大切にして、対応策を考えていきたいです。

◎保健体育委員会企画◎ 「スポーツ大会」実施

小学部一年生から中学部三年生まで誰もが楽しめる企画を考えました。三班に分かれて、大縄跳びをしました。小学部低学年には、上手に跳べるように中学生がサポートしながら競い合いました。他のゲームでも、中学生ばかりが勝つようなことがないよう企画しました。新型コロナウィルス感染症対策もしっかりできました。

◎文化福祉委員会企画◎ 「赤い羽根協同募金」実施

世の中で困っている人々や誰かのためになりたい！そんな気持ちから計画が始まりました。お金をどのように持って来てもらうのかなど、先生方や児童・生徒への説明もしっかり行いました。全校児童・生徒全員が募金活動に参加しました。

